

<本件に関するお問い合わせ先>

日本銀行札幌支店 営業課 (電話011-241-5232)

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



2020年5月28日

日本銀行札幌支店

金融経済概況

【全体感】

北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、大幅に悪化している。

すなわち、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、観光は厳しい状況にあり、個人消費は大幅に減少しているほか、輸出・生産も減少している。また、住宅投資は弱めの動きとなっている。こうしたもとで、企業の収益・マインド面は悪化しており、設備投資は、中長期的な視点での投資案件を中心に緩やかな増加基調にあるものの、弱めの動きがみられ始めている。公共投資は増加している。

雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、地震後の災害復旧工事の発注などから、増加している。また、既発注分を含めた公共工事も、増加している。

輸出は、減少している。

主要品目別にみると、食料品、輸送用機器などで減少している。

設備投資は、緩やかな増加基調にあるものの、弱めの動きがみられ始めている。

3月短観（北海道地区）における2019年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。2020年度の設備投資は、概ね前年並みの計画となっている。

ただ、足もとでは、収益の悪化を受けて、製造業における能力増強投資や、小売業、飲食サービス業における新規出店、店舗改装などの投資を縮小、延期する動きがみられ始めている。

個人消費は、大幅に減少している。

外出を自粛する動きが強まる中、サービス消費、百貨店販売を中心に大幅に減少している。この間、スーパー、ドラッグストアでは、衛生用品に特需がみられるほか、外出の自粛に伴い、日用品や食料品の需要増がみられている。

観光は、厳しい状況にある。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数をみると、貸家は減少している。持家は横ばい圏内の動きとなっている。分譲は高めの水準で推移している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、減少している。

主要業種別にみると、輸送機械、電気機械、紙・パルプなどで減少している。食料品では、持ち直しの動きが一服している。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金、法人預金ともに増加している。

貸出残高は、個人向け、法人向けともに増加している。

貸出金利は、既往ボトムの水準で推移している。

以 上